

校歌と市歌 もうひとつの真実

2021. **10/24** (日) **14:00** (受付 **13:30**)



会場：横浜市八聖殿郷土資料館

参加費：500円 (資料代含・当日支払)

募集人数：30人 (先着順)

講師&演奏：清水一徹 (杉田劇場職員) / 中村牧 (杉田劇場館長)

申込は
9月17日(金)
から受付けます

小学校校歌

「君といつまでも」の

ミュージシャン

加山雄三や近田春夫が作曲した学校？

小学校の校歌をいくつも作曲した松井健祐とは？

美空ひばりの歌を数多く作った米山正夫が？

横浜市歌

森鷗外が楽譜に当てはめて作詞したって？

吹奏楽用の楽譜がなかったの？

飛鳥田市長の指示で楽譜を変更した？

神奈川県民歌

聴いたことないけど、どんな歌？

むかしは映画館で流れていたって？

国歌 君が代

イギリス人が作曲？ いったい、何故？

いま歌っているのがそれ？

地域を歌った《ご当地ソング》といえば、「ブルーライトヨコハマ」や「伊勢佐木町ブルース」などが有名ですが、関東大震災後に原三溪が作詞した「復興小唄 浜自慢」があります。その2番に、♪屏風ヶ浦の朝なぎに～という歌詞が出てきます。この歌は忘れられています。現代では校歌の中に地域の風景が登場しています。そんな校歌を調べていくと、知られざる歴史が発掘されます。

そして開港50周年を記念して作られた横浜市歌。いま皆さんが知っているような歌になるまでには、さまざまな変遷がありました。

今回の発掘隊では校歌・市歌・県民歌・国歌にまつわるそれぞれの事情を、演奏などを交えながら解き明かしていきます。

主催 横浜市磯子区民文化センター杉田劇場

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 / 特定非営利活動法人チーム杉劇 / 有限会社アイコンクス / 株式会社ニックスサービス共同事業体)

TEL 045-771-1212 FAX 045-770-5656 メール sugigeki@yaf.or.jp

共催 横浜市八聖殿郷土資料館 (公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団) 中区本牧元町 76-1 本牧臨海公園内

TEL 045-622-2624

第 51 回いそご文化資源発掘隊参加申込書

※切：10月17日（日）

ふりがな		年代	
お名前		歳代	
ご住所	区		
お電話		携帯電話	
FAX		E-mail	

申込方法 この用紙にご記入のうえ、FAX、郵送、持参で杉田劇場までお送りください。この内容をメールや写メールでもOKです。sugigeki@yaf.or.jp



↑こちらからもお申込みできます

【ご参加にあたってのお願い】

- ・施設入館時に体温チェックをさせていただきます。37.5度以上の方の入館をお断りする場合があります。
- ・入館時に手洗い、手指消毒をお願いします（施設で用意しています）。
- ・マスクの着用をお願いします。

八聖殿とは

大正から昭和初期に逋信大臣や内務大臣など歴任した熊本出身の政治家・安達謙蔵の別荘として、昭和8年(1933)に建てられました。昭和12年(1937)、横浜市に寄贈され、建物の周辺一帯は本牧臨海公園となり市民の憩いの場として整備されました。昭和48年(1973)「横浜市八聖殿郷土資料館」と改名され、市民に郷土の歴史を伝える資料館として、幕末から明治にかけての本牧、根岸の写真や市内で使われていた農具や漁具を中心に展示しています。



根岸駅前バス停（7番乗り場）から97系統で「本牧市民公園前」下車
乗車時間 約8分
バス停から八聖殿まで徒歩約10分

根岸駅前バス停 時刻表

10時 00分 30分
11時 00分 30分
12時 00分 30分
13時 00分

付近のおすすめスポット

- ・本牧臨海公園
- ・本牧市民公園
- ・三溪園
- ・上海横浜友好園



予告

第 52 回いそご文化資源発掘隊 12月開催予定

「今、明かされる真実！《大正》と《温室》の謎」(仮) 笹下釜利谷道路の近くには大正と表示されたNTTのケーブルと、温室前というバス停があります。これらはなんなのでしょう？調べていくと衝撃の事実が発掘されました！